

会 議 録

会議の名称	第5回西東京市教育計画策定懇談会
開催日時	平成20年10月14日 午後1時から3時まで
開催場所	保谷庁舎3階 第2会議室
出席者	(委員)田中委員、本領委員、倉島委員、大橋委員、清水委員、山田委員、松本委員、村田委員、石井委員、上田委員 (欠席)北岡委員、操野委員 (事務局)青柳教育企画課長、清水企画調整係長、雨谷企画調整係主事
議 事	1 第4回会議の会議録の確認について 2 西東京市教育計画策定素案の検討について 3 その他
会議資料	資料1 第4回会議 会議録 資料2 次期「西東京市教育計画」の体系イメージ(案)
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
資料確認	
<p>議事1 第4回会議の会議録の確認について 座長：なにか指摘はないか。次回までに意見がなければ確定とする。</p> <p>議事2 次期「西東京市教育計画」の体系イメージについて A委員：前回の資料から下の階層に移動した項目などがある。それらの経緯を含めて説明してほしい。 B委員：中柱は「形成」を「育成」に変更したのか。 事務局：そのとおり。 座長：順番はどうするか。 事務局：特に意識していない。 C委員：「特別支援教育・・・」は「特色ある学校づくり・・・」の下でよいのではないか。 D委員：「特色ある学校づくり・・・」はいわば学校が独自に取り組めるもので、「特別支援教育・・・」と「相談支援の充実・・・」は市全体で取り組むもの。別柱でよい。 事務局：事務局としても別柱でよいと考えている。 E委員：前回資料では「指導体制の充実」があったが、これはどうなったのか。 事務局：相談の指導ではないので、上にまとめた。 F委員：「学校経営・・・」と「学習環境の・・・」は順序を入れ替えたほうがよい。 座長：ストーリー性を考えて検討していただきたい。 座長：3つめの大柱についてはどうか。食育はここだけでよいのか。 G委員：食育は給食と考え合わせる必要はないのか。 H委員：前回資料では食育は「健康と体力・・・」に含まれていた。食育は教育の一環なので、地域連携だけではないのではないのか。 事務局：市全体の施策でもあり、地域連携を念頭においていたので、この位置にした。 I委員：市としてアピールしたいことであるならば、この位置でも違和感はない。 J委員：私は違和感を感じる。 座長：どれがどれに関連しているかについての概念的な関連図があればよい。表現の仕方を事務局で検討して欲しい。 K委員：「子どもの権利の尊重」は「人権教育」の事業の1つになったので、弱くなったように思う。 座長：「確かな学力の育成」の主要施策はこの2つでよいのか。 L委員：「中学校の選択教科の充実」を加えてはどうか。</p>	

M委員：前回の議論では、中学校の選択教科については充実を目指すという方向性ではなくなったという話だった。

N委員：中学校の選択教科については中柱に入れる必要はない。むしろ、「伸ばす」ことに関する項目を入れてはどうか。

O委員：基礎基本を言っているが、もっと学びたい子どもたちを応援する言葉があってもよい。

座長：「学ぶ意欲に応える教育の充実・推進」を仮として追加させていただきたい。

P委員：「ICTの活用・・・」は施策レベルではなく、事業レベルではないか。

事務局：教育情報化の庁内検討会を意識している。重要な取り組みなので、施策レベルに掲げたい。

座長：ICTという文言ではなく、情報化といった文言にしたほうがよい。

Q委員：パソコンの整備は終わっているのではないか。

事務局：PC環境は都内でも上位だと思う。今後はその環境を利用した学習方法を模索する必要があると考えている。

R委員：ICTに関する授業は実際にはどのくらいあるのか。

S委員：時間数は特に定められていないが、調査などいろいろな授業の中で取り入れている。

T委員：各教科ともICTを利用して質の向上を図ることは可能だと考えている。

座長：「調べる」などの語句を入れたら環境整備と連動できると思う。

U委員：ICT環境の整備こそ行政のやるべきことではないかと思う。

座長：このあたりの文言は事務局から再提案していただきたい。

座長：先ほど子どもの権利の尊重に関する意見もあったが、「豊かな人間性・・・」の主要施策はこの3つでよいか。

V委員：この3つでよいと思う。

W委員：知・徳・体の並びで考えるとこの3つでよいが、「子どもの権利」に対する意思が見えてこないことは残念。

座長：「健康と体力・・・」についてはどうか。

X委員：主要施策に「生活習慣の基礎」などを挙げたほうがよいのではないか。

座長：事務局で再検討してほしい。

座長：「生きる力の育成」全体について細かく議論したい。事業の詳細についてでもよい。

Y委員：事業の詳細は体言止めで統一したほうがよい。

事務局：一覧で示す場合は体言止めで統一する。

座長：事業の詳細の項目数に差がある。また、具体的な内容が見えてこない項目もある。

Z委員：イメージできる表現であることが必要。

a委員：子どもの権利条約についても、誰が学習するのか（子どもが学習するのか周囲を啓蒙するのか）などの具体的なイメージを示す必要がある。

b委員：自発的な学習を促すというニュアンスが伝わったほうがよい。

座長：表現にはこだわったほうがよい。

c委員：「外部講師・・・」は「学校教育環境整備」の下にしたほうがよいのではないか。

座長：事務局には文言整理を次回までをお願いしたい。意見があれば事務局まで寄せて欲しい。

事務局：「生きる力の育成」の部分は、次回に完成形に近いかたちで提示したい。

座長：今回は10月30日(木曜)15時~でどうか。 了承

座長：10月23日(木曜)までに意見を事務局に提出してほしい。

d委員：地域連携の食育とは主に家庭での食育が対象になるのか。

座長：情報の連携などいろいろ関連してくるのではないか。

座長：全体を通じて何かあるか。

e委員：11月以降のスケジュールは未定か。

事務局：毎回、次回日程を決定する。

以上